

平成30年度女性のチャレンジ賞受賞者名簿

(各賞ごと 敬称略順不同)

表彰の種類	氏名(団体名)	現職等(団体は代表者)	都道府県	活動概要
女性のチャレンジ賞 4件	<p>村上 和子</p> 	<p>社会福祉法人シンフォニー 理事長</p>	大分県	<p><u>障害のある子どもの母親として、地域の店舗を展開する形で障害のある人々の働く場を創出</u></p> <p>・地域で安心して暮らし続けるため、平成3年から、地域の方と共に「まちで働く」ことで就労訓練を行っている。 ・ホームヘルプサービスや、母子分離型の児童デイサービスなど、利用者のニーズに合った環境整備や必要な福祉サービスを創り出し、障がい者の自立支援や就労機会の拡大、工賃向上等の先進的な取組を行ってきた。</p> <p>(表彰歴) 大分県女性のチャレンジ賞受賞(平成28年度) 大分県地域福祉推進大会知事表彰受賞(平成26年度)</p>
	<p>神戸 貴子</p> 	<p>N.K.Cナーシングコアコーポ レーション合同会社 代表 社員</p>	鳥取県	<p><u>自らの介護経験を活かし、潜在看護師等の力を活用した介護ビジネスを展開</u></p> <p>・結婚を機に看護師を退職。いわゆるWケアの当事者となり、その経験から、病院付き添いサービスなどに着目し、平成26年から事業を開始。 ・出産や育児などで休職中の潜在看護師等を雇用し、潜在看護師等の雇用の創出を図っている。 ・出産や育児を理由に休職中の有資格者が、短時間でも働くことができるため、社会とつながり続けることができ、技術の維持、社会貢献がもたらす自己実現、満足感から就業継続のモチベーション維持につながっている。</p> <p>(表彰歴) 中国地域女性ビジネスプランコンテスト 中国経済産業局長賞受賞(平成30年) 鳥取県ビジネスプランコンテスト 起業女子部門 奨励賞(平成29年) 他</p>
	<p>津軽海峡マグロ女子会</p> 	<p>北海道側取りまとめ 杉本 夏子 青森側取りまとめ 島 康 子</p>	北海道	<p><u>津軽海峡を挟んで、旅館の女将や地域おこし隊メンバーなど、北海道と津軽の人たちが連携した地域おこし</u></p> <p>・平成26年に団体を設立。立場や利害を超え、地域活性化のため、青森・北海道の両方の地域の食材を活かした弁当を監修したり、メンバー自らが企画した30以上の旅のプログラムを展開、自らガイドを務めるなど、地域の魅力を知る女性たちが津軽海峡をPRしている。 ・市町村の枠を飛び越えて、広域エリアに住む女性が手を取り合い、行政の支援を受けずに様々な活動に取り組んでいる。</p> <p>(表彰歴) 北海道男女平等参画チャレンジ賞受賞(平成29年度) 第9回観光庁長官表彰受賞(平成29年度) 他</p>
	<p>岡 詩子</p> 	<p>ハンサムリネンKOMO 代 表</p>	青森県	<p><u>地元に戻り、リネンを使って起業。クラウドファンディングやフレンドファンディングを活用した地域活性化も</u></p> <p>・大学進学を機に上京、就職後、平成23年に出身地の青森県鶴田町に戻り、縫い目の見えない完全手縫いリネン製品を製作・販売する「ハンサムリネンKOMO」を起業。独学で技術を習得し、ハンドクラフト作家として本格的に事業を展開。 ・起業をきっかけに、子育て中のママたちと一緒に鶴田町を元気にする「つるた街プロジェクト」を立ち上げ、さまざまなイベントを企画・実施している。中でも、「星空のキャンドルナイト in 鶴田」は、現在では1,000人を呼び込むイベントに成長。フリーペーパーやSNSを活用した情報発信にも取り組み、地元・鶴田町への愛を原動力に、さらなるチャレンジを続けている。</p> <p>(表彰歴) 青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰女性のチャレンジ賞受賞(平成28年度)</p>

表彰の種類	氏名(団体名)	現職等(団体は代表者)	都道府県	活動概要
女性のチャレンジ 支援賞 2件	特定非営利活動法人Fine 	理事長 松本 亜樹子	東京都	<u>現在・過去・未来の不妊体験者の心と身体のサポート、環境改善及び啓発活動</u> ・不妊治療と仕事の両立環境改善のため、企業や行政における環境整備のサポートやセミナーの実施、さらに幅広い世代が妊娠や不妊に対して正しい知識を得られる講演会などを実施している。 ・不妊当事者の心のケアであるカウンセリング事業として、「ピアカウンセリング、および「不妊ピア・カウンセラー養成」を設立当初より注力して継続している。 ・不妊＝女性のイメージから、「妊娠はパートナー同士で行なうもの」へと啓発活動を行い、「男性不妊」への認知も拡大。 (表彰歴) 東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞(平成28年度)
	阿波女あきんど塾 	平成30年度リーダー 植田 貴世子	徳島県	<u>徳島市の女性経営者が、行政との協働のもと、地域経済の活性化にむけ、女性起業家や経営者を支援・アドバイス</u> ・全国で初となる女性だけを対象とした「金融支援制度」の創設を平成8年に徳島市に提案し、女性起業家の増加に貢献。 ・女性起業家への支援・ネットワークづくりや女性の経済活動のサポート等を行うことにより、女性活躍を推進するための機運の醸成、課題の解決に向けた実践的な取組を実施している。 (表彰歴) 男女共同参画立県とくしまづくり賞受賞(平成29年度)
女性のチャレンジ賞 特別部門賞 (「スポーツを通じた女性の活躍促進と、性差を踏まえた健康支援」) 2件	堀田 久美 	菜桜助産所 院長	静岡県	<u>出産前後にまつわる様々なトータルのケア等に取り組む</u> ・富士市で助産院を平成13年に開院。出産や子育てだけでなく、出産による身体のダメージ回復のための支援、更年期女性の支援などの活動を行う。 ・産後の回復のために栄養バランスを考慮した手作り弁当の宅配サービスや、英会話教室と連携した産休中のキャリアアップ支援等を実施。 (表彰歴) 静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞受賞(平成26年) 他
	特定非営利活動法人 バレーボール・モントリオール会 	代表理事 吉田 昌子	東京都	<u>女性スポーツ勉強会や、自治体や地域住民と連携したスポーツ活動の環境づくり</u> ・昭和51年のモントリオール五輪で金メダルを獲得した女子バレーボール日本代表チームのメンバーと、その取材記者らが30年後の平成18年に結成。 ・バレーボール教室、難民支援のバレーボール大会などを実施。さらにスポーツの在り方を考えるシンポジウムなども自治体や地域住民、高校生・大学生とともに実施している。 ・平成26年からは、女性スポーツの環境を変えるために「女性スポーツ勉強会」を実施。毎回300名近いスポーツ関係者を前に、元オリンピック選手やコーチ、さらにその親らが女性スポーツが直面する問題を率直に提起し、その改善のための方策を検討している。